

UNITE FOR GOOD

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

白
信



や
す
く
さ
わ
い

2025

12

Rotary
第2820地区



2025-2026 年度
ガバナー 瀬戸 隆海

2025-2026 年度 RI 会長メッセージ



よいことのために手を取りあおう

目 次

12月は 痘病予防と治療月間です

ガバナー メッセージ	3
地区大会参加への御礼	4
公式訪問紹介	5
ガバナー時代回顧録	6
我がクラブ紹介 下館 RC 結城 RC 下妻 RC しもだて紫水 RC 筑西きぬ RC	11
新会員紹介	13
会員増強報告	14
スケジュール・年末年始休暇のお知らせ 訃報・編集後記	15
ポリオディ (10/26) スナップ集	16

題字・表紙写真

12月 みやび絵歳時記

やすらぎ 静けさひとつ ゆきの中

作者 澤田 竜一

懐ただしく過ぎていった秋の日も雪に覆われ、静かさだけが残されてしまった。



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2820 地区
2025-2026 年度ガバナー

瀬戸 隆海 (水海道RC)

皆さま、今年は秋が短く、天候にも恵まれない日が続きましたが、気づけばもう冬の訪れを感じる季節となりました。

地区大会や「世界ポリオデイ 2820」、そして 7 月から続いた公式訪問も無事に終了し、すでに藤木ガバナー年度へと歩みを進めております。これもひとえに、会員の皆さまのご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

もっとも、私の年度もまだ 7 か月を残しております。これから各分区での IM、そして来夏には RYLA も開催予定です。どうぞ引き続きのご支援をお願いいたします。

地区大会の翌日からは、ゾーン 1A・2・3 のロータリー研究会と財団セミナーが行われ、ガバナーとしての怒涛のスケジュールも終わり、ようやく少しずつ落ち着いた時間を取り戻しつつあります。

今回の地区大会では、国際ロータリー第 5420 地区のディーン・ジャクソン氏を RI 会長代理としてお迎えすることができました。実は、ディーン氏とは約 16 年來の親交があり、互いの家を訪ね合うほどの関係です。彼のロータリーの神髄は、「奉仕を通じて生まれる人との交流」に重きを置くところにあります。私自身も、この“ロータリアンの交流のマジック”にはいつも驚かされます。

ある日こんな事がありました。海外のロータリアンと夕食をともにした際、たまたま隣席に初対面の方が座られました。ふと見ると、その方の襟にはロータリーバッジが輝いていました。自然と会話が弾み、食事の後に名刺交換をしたところ、名刺には世界的製薬会社の名誉相談役の肩書がありました。まさかそのような方と親しく語り合えたことは、忘れられない思い出となりました。——これこそが、ロータリーのマジックでありロータリーの楽しさではないでしょうか。

各クラブを訪問すると、「ロータリーのどんなところが面白いですか?」というご質問をいただきます。「奉仕活動に感動すること」と答えるのは優等生的回答ですが、私にとっての楽しみは“人とのつながりを広げること”にあります。ロータリーを通じた人のつながりは、計り知れないものがあります。ぜひ皆さんも、このつながりの輪をさらに広げて仲間を増やしていきましょう。きっと人生にも、仕事にも新たな広がりが生まれることでしょう。

次にロータリアンとしての楽しみは、自分の職業では得られない体験ができることです。たとえば、フィリピンでの歯科医療奉仕に参加した際には、器具の洗浄や照明係を務めるなど、日常では得がたい貴重な経験をしました。奉仕とは、「体験を通じて学ぶ」ことでもあるのです。

どうか皆さんも、ロータリーの奉仕を通して多くの体験を重ねてください。特に「この指とまれ」プロジェクトに支援したクラブの皆さんには、事業への参加を通じてその価値を実感していただきたいと思います。きっと、これまで以上に視野が広がり、新たな発見があるはずです。



地区大会を終えて

国際ロータリー 2820 地区
地区大会実行委員長

青木 清人 (水海道RC)

このたびは、二日間にわたり開催いたしました地区大会にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、多くの会員の皆様と共に意義深いひとときを過ごすことができ、心より厚く御礼申し上げます。

本大会のテーマは「新しい出会いと感動」でございました。

クラブの垣根を越えて地区の仲間と一緒に会し、心を通わせることができたことは、何よりの喜びであり、大きな励みとなりました。まさにロータリーの絆をより一層深める機会となつたものと存じます。

また、記念講演では池上彰氏をお迎えし、「ニュースから未来が見える」と題してご講話を賜りました。わかりやすい解説の中に、私たちが社会にどのように向き合うべきかという示唆が込められており、多くの会員の皆様が深い感銘を受けられたことと存じます。

水海道ロータリークラブ会員一同、一丸となって準備を進めてまいりましたが、何かと行き届かぬ点もあったかと存じます。どうかロータリアンの友情に免じてお許し頂ければ幸いです。

この二日間の大会を通じて得られた学びや感動は、今後のクラブ活動の大きな糧となることでしょう。

皆様のご参加とご協力あってこそ、このように充実した大会を開催することができました。改めまして、心より感謝申し上げます。



公式訪問

水戸西ロータリークラブ

10月8日



公式訪問

波崎ロータリークラブ

10月9日



「地球上で最も有能なボランティアのチーム」とされる高潔性を持つこと、会員増強や予算や事業の在り方に率直なご意見をいただきました。人口減少の中で地区やクラブができることを意見交換できました。

公式訪問

土浦中央ロータリークラブ

10月29日





ガバナー時代 回顧録

国際ロータリー 2820 地区
2008 ~ 2009 年度ガバナー

廣瀬 昭雄 (土浦RC)

私の年度、国際ロータリー会長は韓国のドン・カン・リーこと李・東建氏でした。国際ロータリーのテーマは、『夢をかたちに』 Make Dreams Real でした。彼は言いました。

地域社会で最も大切な資源である「子供たち」に光を当てて頂きたいのです。

強調事項は、水、保健と飢餓、識字率の向上でした。

10年ぶりの、ガバナー輩出で、クラブ会員一丸となって、サポート体制が出来上がり、皆様一人一人が生き生きと活動されていたこと、思い出しています。

世界の出来事は、オバマ米大統領誕生、日本は麻生首相が誕生の時代でした。

5歳未満の幼い子供達が、世界中で、特にアフリカで、たくさん命を落としている。この現状を少しでも改善するために、ロータリーも手をかそう!!。

李東建 RI 会長の呼びかけに答えて、我が 2820 地区でも、さまざまな取り組みをしました。とりわけ、アフリカで、マラリアで、亡くなる 5 歳未満の子供が非常に多いことから防虫カヤを贈呈しようとの提案に、多くのクラブの方々が協力してくれました。

当時地区には、60 クラブが存在しており、各クラブに呼びかけ、集めた義援金を アフリカは、縁あって、ブリキナファソのロータリークラブを通じて、住友科学の防虫カヤを現地で調達し、贈ったものでした。そして古河東 RC の 有志のメンバーが、現地へ行って贈呈式に参加されたことは、忘れられない 1 ページです。 後にロータリーの友にも、掲載されました。

また翌年 4 月の地区大会では、アフリカの子供達をテーマに、長年撮り続ける著名な写真家の田沼武能氏に講演を依頼しました。またドイツ 1880 地区からは GSE チームが訪日されるなど、土浦市民会館で盛大に開催されました。RI 会長代理は、元 RI 理事の重田政信（高崎北 RC）さんでしたが、この件で李東建 RI 会長から 2820 地区が特別表彰された思い出があります。

また、バンコックの病院に医療機器を贈呈した 3350 地区タイの地区大会にも参加させて頂き、多くの友人と再会できました。

6 月国際大会はバーミンガムで開催され、市街の運河を船に乘ったり、ビートルズの「アビー・ロード」を闊歩したことなど、つい昨日のように思い出されます。

後に、同期のガバナー達と李 東建氏夫妻をお招きし、四国椎葉のかつら橋に行ったり、思い出は尽きない。

「行く河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」ロータリーも 時代と共に変化する！、我がクラブも昭和 33 年の創立以来今年で 68 年、縁あって入会以来 39 年、振り返れば、あーと言うまの出来事でした。

これまでロータリーを通じて、地区内外の多くの方々にお会いでき、時にはお世話になり、この場を借りてあらためて感謝致します。



ガバナー時代 回顧録

3・11 東日本大震災に立ち向かった 全クラブに感謝

国際ロータリー 2820 地区
2010-2011 年度ガバナー

山崎 清司(古河東RC)

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、戦後最大の自然災害として東日本沿岸部に甚大な被害をもたらしました。私はこの報道を受け、4月9・10日に予定されていた地区大会の即時中止を決断しました。沿岸地域の被害は深刻で、会員の事業所や自宅にも影響が及ぶと判断したためです。このような状況下で強行することは会員から非難され、県民感情を逆なですることになります。坂田信夫・地区幹事、池田清・実行委員長指揮のもと、ホストクラブと当クラブ会員の協力で、事前準備は万全、その日を待つばかりでした。開催中止の即決は、この大震災の前では些細なことでした。

代替措置として、登録料の一部5,000円を義援金に充てる提案が全クラブから承認され、深く感激しました。集まった義援金や見舞金により、茨城県へ500万円の災害支援金を贈呈し、県内クラブも一丸となって被災者や原発避難者、液状化被害者への支援活動に尽力しました。ペットボトル水、漁網、貯水槽、入浴サービス、食糧支援など、地区スローガン「行動するロータリアンたれ」を体現する活動が展開され、新聞各紙にも取り上げられ「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」にも寄与できました。私は今、つらつら思うに「個を捨て公を選択」した決断に大きな誇りを持っています。これは天から与えられた試練であったと思います。

特に印象深いのは、北茨城ロータリークラブの村山潤一ガバナー補佐からの依頼で大津漁港に贈呈した漁網支援でした。穏やかな海に魚は戻りもとの生活に戻りつつある中、漁網が流され漁に出られない家族漁業者が多数いることがありました。北茨城ロータリークラブの関係者を交え何回も大津漁業協同組合関係者と話し合い地区が約800万円の支援を約束しました。・・がもう地区には金がなくロータリー東日本震災復興支援基金補助金を申請しました。・・が申請するも「100万円は自力が条件」との返事がきました。とても無理の話なので高崎高校先輩の第2840地区(群馬県)安藤震太郎(高崎北RC/2011-12)PDGに「100万円支援」をお願い、快諾を得て資金を確保。12月13日、寒風吹きすさぶ大津漁港の岸壁で報道関係者の見守る中、漁網贈呈式が行われ、ボクのガバナーとしての最終奉仕が終了しました。



ガバナー時代 回顧録

国際ロータリー 2820 地区
2012-2013 年度ガバナー

野堀 喜作 (つくば学園RC)

私の年度の国際ロータリー会長は日本人の田中作次会長でした。日本人の会長という事で、同期の日本のガバナーは日本語で話が聞けるし、話も出来て良かったと話し合って居りました。田中会長のテーマは「奉仕を通じて平和」でした。超我の奉仕を通じて平和に貢献したいとの事でした。

私は 2010 年山崎ガバナーのもと、年齢的にも結構近い構成で 8 名で仲良くガバナー補佐をやって居りました。8 人の中で私が一番出席率が悪い補佐でした。本当は水海道クラブの鈴木さんがガバナーノミニーに内定をされて居ましたが、体調不良という事で他のクラブからガバナーを出して欲しいとの話が我がクラブにもあり、当時の川崎会長から引き受けてくれないかとお話をありました。私としては、ロータリアンとしての知識も指導力もありませんのでと再三お断りをしていたのですが、どのクラブにも該当者がいないという事で、川崎さん、増山さん、クラブの皆様から応援するから受けてくれという事でガバナーになったという事でした。そういう訳でガバナー補佐でノミニーという事になり、同じ年の池田さんと藤木さんには出席率が悪いからもっと勉強しろと言われてノミニーになったとからかわれて居りました。もちろんお二人をはじめ、全員の皆様から何でも手伝うよと後ろを押して頂きました。その後は山崎ガバナー年度、大木ガバナー年度にはガバナーといつも一緒に行動し、色々と勉強をさせて頂きました。我がクラブ、シティークラブの皆様の全面的なご協力により、お陰様で一年間ガバナーを勤める事が出来ました。私の年度の時は大木年度の公式訪問を合同でやる事でお互いに他のクラブを知る事が出来る事、公式訪問の数を減らす事でクラブもガバナーの負担が減るという目的で大木ガバナーがやられた合同公式訪問を私もそれが良いのでは、と継承した一年でした。

私は、地区のテーマを「クラブからのスタート」という事とし、会員拡大 2000 名の挑戦と奉仕と親睦を行なう事、地区大会で美味しいものを沢山出して美味しいお酒を飲み、親睦を図る事を一番の目標で地区の皆様に公式訪問をして参りました。そういう訳で、10 日以上の泊まりの公式訪問で毎回最低二次会まで三次会と皆様には大変迷惑をかけていたのではないかと反省をして居ります。お陰様で現在でも沢山のクラブの皆様と仲間付き合いをさせて頂いて居り、井上ガバナーの感謝の思いではありませんが、私も 2820 地区の全会員の皆様に一年間大変お世話になった事に対し、大変感謝を致して居ります。私流のロータリー活動は感謝で始まり、人情と義理と浪花節で終わるものと思って居ります。

私も一ロータリアンとして地区の活性化の為、協力努力して行くつもりです。今後共、地区的会員として皆様との御厚誼の程をお願いして文の終わりに致します。

ありがとうございました。

百拜



ガバナー時代回顧録

私とロータリー

国際ロータリー 2820 地区
2016 ~ 2017 年度ガバナー

白戸 仲久(古河中央RC)

今年度瀬戸年度は歴代地区ガバナー回顧録を連載しておりますが、若くして入会した私は今想うにロータリーに入会していなかったらどんな人生を歩んでいただろう…と想う時、ロータリーに大きな刺激と感化を受けましたのでこの題名で拙文を書かせて頂きましたので悪しからず、よろしくお願ひ致します。

〈入会のきっかけ〉

50年前、私の近隣の市町村には隣接する旧古河市に古河ロータリークラブが存在しており、商業の街古河市で隆盛を誇る商店主が主に入会しており、我々若輩者には雲の上の組織であり、高嶺の花と目に映っていました。

そんな折古河ロータリークラブに総和町在住で所属していたのは只一人塚田義一先生と云う県議会議長歴任者であり、当時茨城県交通安全協会の会長の要職に就かれていた立派なお方でした。やがてその方が古河ロータリークラブの10代目の会長になる事となり、今も昔も同じです。会長になると会員増強が一番大きな役目ですので、当時の総和町長にロータリーの会員にふさわしい人を探してくれ、と指示したようです。先生と総和町長は地域の政治家同士では親分子分の間柄だったようでした。そして町長が人選した方々は議員の中から議長や副議長、そしてロータリークラブは奉仕団体である事を町長は承知していた様で、ボランティアに興味の深い議員等でした。私の父も当時副議長をやっていた事から当然該当者であったのですが、町長から「副議長の家では何んが手広く事業をしているので何んでよいのでは」と言われた様で、父は町長に「よろしく」とお願ひしたようです。

そしてやがて人選された方々が町長室に集まりました。すると古河ロータリークラブの会員増強委員長が来庁し、開口一番「現職議員の方は入会の資格がありません」(当時政治に現職の関係者は入会出来なかったのです)5~6人集まった議員は全員入会資格がありません。私のみ資格がある事になり他の議員が散会した後、「白戸君ちょっと待てよ」と町長に呼び止められ「議員は入会出来ないとの事では他に誰か適任者はいないか」と言われ、町長と何人か候補を検討し他に2名を勧誘し、ようやく総和町在住者が塚田年度に私を含め3人入会しました。ちなみに私は当時34歳で、古河RCでは7~8年間最年少会員でした。



ガバナー時代 回顧録

国際ロータリー 2820 地区
2017 ~ 2018 年度ガバナー

保延 輝文 (石岡RC)

回顧録のお話を頂いた時、最初に頭に浮かんだことはその当時の覚悟と大きな不安感、そして役に立てることがあれば頑張りたいという心からの想いでした。ただ実際に 2017 – 18 年度を迎えるからは、先輩諸氏の皆様、クラブの皆様、そして他クラブの皆様のおかげで無事一年を締めくくることができました。我が 2820 地区のロータリアンとしての理念そして責任感、意識の高さを再認識させていただいた日々だったと思います。

ガバナー年度の RI テーマは“ロータリー：変化をもたらす”ということで、地区のスローガンを“未来へチャレンジ”と致しました。公式訪問の際は、最重要項目としての

- ・クラブのサポートと強化
- ・公共イメージと認知度の向上
- ・青少年への支援

などを中心に各クラブに沿ったお話をさせて頂きました。歴史そして特色の違いはありましたが、各クラブが地域に密着した奉仕活動に精進し地道に活動している現場に接し毎回心を揺さぶられました。現在は変化があまりに激しく今までの常識が覆させられることが日常茶飯事ですが、人間の本能は太古から変化はしていないと考え、地道な奉仕活動は必ず社会の力になると確信しております。

あっという間の一年間でしたが、心残りがあるといえば、地区が一体として社会奉仕活動を出来ればよかったですと思います。数々のアイデアはでておりましたが残念ながら実現には至りませんでした。

又、当時の地区大会は全国で一番最後の 5 月下旬でした。ガバナーの活動をしながら、頭の片隅にはいつも地区大会への考案がありました。現在は年内に終了し、残りの期間落ち着いて地区のことに集中でき、年度の方針も早めに各クラブに伝えることが出来るようになったと思います。最後にただただ、皆様の多大なるご厚意に感謝をしております。三大セミナーの設営、地区大会の進行そして公式訪問の際の随行員など、石岡 RC 及び 6 分区の会員の皆様に快く引き受けいただきました。その様にロータリアンの強い絆を体験させていただきその時の方々は私の人生の宝です。また、同期のガバナーとの交流は現在も熱く続いている、私のもう一つの宝となっております。

この貴重な経験に感謝しつつ、これからもロータリアンとして微力ながら 2820 地区と共に歩んで行きたいと思っております。

我がクラブ紹介

第5分区編

下館ロータリークラブ

会長 堀江 勤
幹事 塚田 砂与

下館ロータリークラブは、65年前の1960年5月25日に、国際ロータリー第2820地区の中では10番に、水戸ロータリークラブによって設立されました。その後、結城ロータリークラブ及び下妻ロータリークラブを設立し、しかも紫水ロータリークラブをアディショナルクラブとして設立しました。その一方で、下館ローターアクトクラブや下館さくらロータリー衛星クラブも設立している、伝統と実績のあるクラブであります。

奉仕活動についても、これまで様々な活動を行ってまいりましたが、最近まで続く継続事業としては、「母小島遊水地の環境保全に係る社会奉仕活動」や、「ネパールの子供たちへの国際奉仕活動」があります。特にこの社会奉仕活動につきましては、クラブ創立30周年の記念事業の1つとして、当時 何もなかったこの母子島遊水地に桜ソメイヨシノの木を150本植樹し、さらに国際ロータリー100周年の記念事業として、170本を追加で植樹したのをきっかけに、以降毎年その地の維持管理やクリーン作戦を行っております。

これにより、35年以上たった今、合計300本以上の桜の木々が大きく育ち、今では筑西市を代表する「桜の名所」となり、さらに「ダイヤモンドつくば」として、筑西市のガイドマップの表紙を飾るまでに観光地化しました。

また、毎年この母子島遊水地で地元の自治会と共に花見例会を開催したり、ボーイスカウト・ガールスカウトなどを呼び、この桜の木々が年間300トン以上のCO₂の削減に寄与しているなど、環境保全や防災に関するワークショップも行っております。

このような社会奉仕活動を、継続して実施してきた結果、この度 国土交通省より「令和7年度河川愛護団体等表彰」を受けることができました。

今後も、他団体と協働しながら、この母子島遊水地の環境保全に努めるとともに、地元の一大観光地としてPRし、ロータリー活動の公共イメージのアップに貢献してまいります。

結城ロータリークラブ

会長 斎藤 章
幹事 富田 昌宏

私共、結城ロータリークラブは1964年11月6日に下館ロータリークラブをスポンサーとして創立し、チャーターメンバーは39名で創立しました。下館ロータリークラブの中島鉄太郎パストガバナーに特別代表としてご指導、ご支援を頂き、創立当時の吉野五郎パストガバナー年度1965年2月1日に国際ロータリーの加盟が承認されました。

友好クラブとして、ワツムワンRC（タイ）と長期的な関係を結び、地域理解や国際親善を深めながらグローバルグラントやバンコク市内の小学校にランドセル贈呈事業などに取り組んでいます。

2025年4月5日には、創立60周年記念例会を開催し、ガバナーや結城市長をはじめ、多くの方から暖かい祝福を頂きました。スポンサーの下館ロータリークラブの皆様をはじめ、子クラブの筑西きぬロータリークラブの皆様、地区役員や他クラブのロータリアンの心からのご指導ご鞭撻の賜と厚く感謝申し上げます。

当クラブは、地域の実情に合わせながら奉仕活動を続けて参りました。特に社会奉仕活動の結城市健康の森による自然環境保全活動ほか、国際奉仕の使い終わったランドセル贈呈事業、青少年奉仕の青少年サッカー大会、職業奉仕の職業人に学ぶ事業などを継続的に行っております。

結城ロータリークラブはロータリーを楽しみ、今後も地域社会に愛され、信頼されるクラブであるために、ロータリアンとしての誇りと責任を持ちながら、活動を続けて参ります。

下妻ロータリークラブ

会長 杉田 渉
幹事 端 敦宣

下妻ロータリークラブは1968年8月1日、下館ロータリークラブをスポンサークラブとして創立し、地域社会への奉仕を理念に掲げ、時代のニーズに合った奉仕活動を行い地域の発展に寄与してきました。大宝八幡宮を例会場として月3回の例会を行なっています。また、会員間の親睦を深めるために、毎月第1例会を夜例会とし親睦例会を行なっています。和やかな雰囲気の中、会員一人ひとりの親睦がより深まり、ロータリー活動の参加がより楽しみになります。

クラブの事業としては青少年奉仕活動として『職業人に学ぶ会』を中学校で行い、職業人が講師として生徒に将来の職業選択の一助となる事業を行なっています。国際奉仕活動では『こんにちワールド』を小学校で行い、各国の留学生が講師となり自国の文化を紹介します。生徒が他国の文化に触れる学びの多い事業となります。社会奉仕活動では『砂沼一斎清掃』『ホタルの里整備』事業を行なっています。『砂沼一斎清掃』事業は、今まで行政主導で行っていた砂沼清掃がなくなり、「必要な事業なのでクラブで何かできることがないか」とクラブで意見が有り、下妻ロータリークラブ主催で他団体、学校、地域に呼びかけを行い地域全体で環境美化活動を行なっています。『ホタルの里整備』事業では、ビアスパーク下妻に水辺の整備を行いホタルの生育を行なっています。水辺の環境の保全とホタルのやさしい光が地域の方々の癒しとなっています。

今年度、下妻ロータリークラブは杉田会長のもと、協力し尊重し合えるロータリーとして一致団結し地域社会への奉仕を行なってまいります。

しもだて紫水ロータリークラブ

会長 高田 昌明
幹事 間々田涼平

しもだて紫水ロータリークラブは、筑西市を拠点に活動する会員51名（男性47名・女性4名）のクラブです。例会は毎週火曜日、ホテルニューハヤシで開催しています。ベテランと若手のバランスが良く、次期（2026-27年度）には藤木ガバナーを輩出予定です。地域とのつながりを大切にしながら、会員一人ひとりが自らの役割を考え、奉仕の心を育んでいます。

近年では、固定費増加による財政面の課題や、寄付・奉仕活動への温度差などの課題にも直面しています。しかし、そうした現実を見つめながらも「地域に新しい風を起こそう」との思いから、新たな社会奉仕プロジェクトに挑戦します。それが『400秒で夢をつかめ！Powered by PechaKucha』です。筑西市や教育委員会の後援のもと開催されるプレゼンテーションイベントで、参加者が自身の夢や地域への提案を400秒という限られた時間で発表。受賞者には活動資金を贈り、次なる挑戦を後押しします。

聴く人も話す人も刺激を受け、世代や立場を超えて価値観を共有する場づくりを目指しています。発信し、受け取ることで、互いを認め合う寛容な地域社会の実現に寄与したい——それが私たちしもだて紫水ロータリークラブの新たな挑戦です。

筑西きぬロータリークラブ

会長 奈良沢克也
幹事 鈴木 宇子

私たちの筑西きぬロータリークラブは、地域社会、そして世界に良い変化をもたらしたいと願う「行動人」が集まっています。

大きな柱は「奉仕」と「親睦」です。私たちは、知り合いを広めることを奉仕の機会とし、職業上の高い倫理基準を保ちながら、地域社会や国際社会に貢献することを目指しています。互いに信頼し、助け合う 精神は、私たちロータリアンの行動原理となっています

当クラブの活動は多岐にわたります。国際的には、ボリオ根絶活動や献血運動、災害支援、青少年交換プログラムなどを通じた国際理解・親善の推進に力を入れています。地域では、会員の知識や経験を活かし、地元の小学校にハローワールドと言う名のプレゼンテーションを、地元の小学校に、筑波大学生（留学生8名）を講師して、お願いして、留学生の（様々な国）祖国の紹介、生活習慣、祖国の食べ物、気候、地理、など様々な情報を、講師として教えて頂きとても興味深いお話をさせていただいている 又、「どすこい祭り」でのPOLIO根絶運動を行っています。様々な分野柔軟に対応して地域のニーズに合わせた奉仕活動を行っています。平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護といった国際ロータリーの重点分野に沿って活動しています。

★クラブで得られること

ロータリークラブに入会すると、他では出会えないような多様な分野の人々と交流し、ネットワークを築くことができます。また、プロジェクトの管理や人前でのプレゼンテーションスキルを磨き、リーダーシップを養う機会も豊富です。国際的な感覚が身についたり、思いやりの心が熟成されたりするなど、自分自身の成長にもつながります。

このように、私たちのロータリークラブは、友情を育みながら、地域や世界の課題解決に貢献し、自分自身も成長できる素晴らしい場所です。

新入会員紹介

Enjoy Rotary

(敬称略)



水戸 RC
飯竹 直行

■入会日
2025年9月9日

■職業分類
電力



水戸 RC
坂下 徳隆

■入会日
2025年9月9日

■職業分類
情報通信



古河中央 RC
山鹿 真吾

■入会日
2025年10月1日

■職業分類
税理士



水戸 RC
河合 徹明

■入会日
2025年10月7日

■職業分類
繊維衣料品関連

国際ロータリー第 2820 地区
2025-26 年度

会員増強報告

2025 年 9 月末時点

分区	クラブ名	会員増強報告(単位／人)								2025 年 9 月末日	うち 女性会員		
		本年末 会員目標	期首 会員数	9月実績		本年度累計							
				入会	退会	入会	退会	純 増					
第1分区	日立	69	64	0	0	0	0	0	64	3			
	日立南	36	34	0	0	0	0	0	34	3			
	高萩	35	31	0	2	0	3	-3	28	1			
	北茨城	29	25	0	0	1	0	1	26	3			
	日立港	35	32	0	0	1	0	1	33	2			
	日立北	38	35	0	0	0	0	0	35	4			
	日立中央	22	20	0	0	0	0	0	20	3			
第2分区	合 計	264	241	0	2	2	3	-1	240	19			
	那珂湊	17	16	0	0	0	0	0	16	1			
	常陸太田	40	37	0	0	0	0	0	37	6			
	大子	26	24	0	0	0	0	0	24	2			
	大洗	14	13	0	0	0	1	-1	12	0			
	勝田	26	24	0	0	2	1	1	25	2			
	東海那珂	35	32	0	0	3	0	3	35	0			
第3分区	ひたちなか	25	23	0	0	0	0	0	23	2			
	合 計	183	169	0	0	5	2	3	172	13			
	水戸	133	123	2	1	2	1	1	124	4			
	笠間	22	19	0	0	0	0	0	19	0			
	水戸西	75	69	0	0	1	0	1	70	12			
	水戸南	85	75	0	0	2	0	2	77	11			
	友部	21	20	0	0	0	0	0	20	0			
第4分区	水戸東	68	63	0	0	0	0	0	63	4			
	水戸さくら	20	17	0	0	0	0	0	17	3			
	水戸好文	19	17	0	0	0	0	0	17	15			
	茨城 RE	12	10	0	0	0	0	0	10	4			
	合 計	455	413	2	1	5	1	4	417	53			
	古河	54	50	0	0	0	0	0	50	5			
	境	42	39	0	1	0	1	-1	36	0			
第5分区	岩井	12	9	1	0	1	0	1	10	2			
	古河東	49	45	1	0	1	0	1	46	14			
	古河中央	52	47	0	0	2	0	2	49	6			
	合 計	209	190	2	1	4	1	3	191	27			
	下館	25	23	0	0	0	0	0	23	3			
	結城	25	23	0	0	1	0	1	24	0			
	真壁	14	11	0	0	0	0	0	11	0			
第6分区	下妻	69	64	0	0	4	0	4	68	7			
	しもだて紫水	52	49	0	0	2	0	2	51	4			
	筑西きぬ	16	14	0	0	0	0	0	14	3			
	合 計	201	184	0	0	7	0	7	191	17			
	石岡	18	16	0	0	0	0	0	16	0			
	土浦	53	46	0	1	1	3	-2	44	8			
	土浦南	93	86	0	0	1	0	1	87	5			
第7分区	つくば学園	110	105	1	0	5	1	4	109	6			
	石岡 87	28	25	0	0	0	1	-1	24	0			
	土浦中央	13	11	0	1	1	1	0	11	0			
	つくばシティ	59	54	0	1	2	2	0	54	8			
	阿見	24	23	2	0	3	0	3	26	1			
	つくばサンライズ	19	17	1	0	3	0	3	20	7			
	合 計	417	383	4	3	16	8	8	391	35			
第8分区	竜ヶ崎	38	35	0	0	0	0	0	35	5			
	水海道	51	48	0	2	1	2	-1	47	2			
	取手	16	14	0	0	0	0	0	14	1			
	牛久	41	38	0	1	0	1	-1	37	3			
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0			
	龍ヶ崎中央	17	12	0	0	2	1	1	13	2			
	合 計	168	150	0	3	3	4	-1	149	13			
地区合計	鉾田	29	27	0	0	0	0	0	27	0			
	鹿島臨海	45	40	0	0	0	0	0	40	5			
	玉造	10	9	0	0	0	0	0	9	1			
	波崎	18	15	0	0	0	0	0	15	1			
	鹿島中央	21	19	0	0	2	0	2	21	2			
	合 計	123	110	0	0	2	0	2	112	9			
	地区合計	2020	1840	8	10	44	19	25	1863	186			

*期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日午後12時時点とする。

12月ガバナー公式訪問・研究会日程表

1	月		12	金		23	火	
2	火		13	土		24	水	
3	水	米山選考会(水戸)	14	日		25	木	
4	木		15	月		26	金	
5	金		16	火		27	土	
6	土	米山選考会(土浦)	17	水		28	日	
7	日		18	木		29	月	
8	月		19	金		30	火	
9	火		20	土		31	水	
10	水	那珂湊創立70周年	21	日				
11	木		22	月				

年末年始休暇のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

誠に勝手ながら下記の期間、各事務所の年末年始休暇とさせて頂きます。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいますようお願い致します。

ガバナー事務所

2025年12月27日(土)～2026年1月6日(火)

ガバナーエレクト事務所

2025年12月27日(土)～2026年1月6日(火)

※両事務所ともに、1月7日(水)より通常業務となります。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます



日立港RC
小松 弘二
(享年 89 歳)
1937年4月8日生まれ
2025年11月3日ご逝去
1995年7月6日入会

■ ロータリー歴
2002-2003 クラブ会長
2005-2006 インターアクト委員
2006-2007 インターアクト委員
2008-2008 インターアクト委員
■ 寄付歴
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー3回
米山功労者3回



12月号編集後記

編集後記「慣れない職分で戸惑いある我が身です。当初、印刷以外の作業もプロが行うと思っていたのですが、ロータリアンと事務局の作業と知って驚いています。今年度の主旨でもある情報交換の場という月信の完成が楽しみで地区ロータリアンの皆様には感謝しています。この後も終刊までどうぞよろしくお願ひいたします。

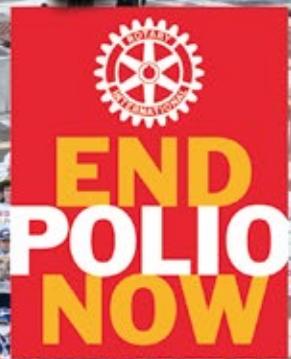
ガバナー月信編集委員会 雨貝道夫



世界ポリオデー 2820

～ポリオのない世界まであと少し～

ポリオをなくそう



Rotary
第2820地区

2025年
10月26日(日)

会場 第1部 筑波銀行本部
第2部 つくばセンター広場